

令和8年度 江戸川区立西葛西小学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標に関わる学級目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導			他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心とした指導			
	児童の人間関係を把握する。		教師が児童のよい行いを称賛する。			児童相互で友達のよい行いを紹介し合う。							
各教科・読書科	国語 ：複数の本や新聞、インターネットから得た情報などを活用し、比較、分類、関連付けるなどして分かったこと、それらをもとにして考えたことをまとめて、文章を書いたり発表したりすることを通して伝え合う力を身に付けさせる。 外国語 ：外国語による言語活動を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		理科 ：人や他の動物について、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、生命を尊重しようとする態度を身に付けさせる。 音楽 ：わが国や諸外国の様々な音楽を教材とし、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する敬重とともに、豊かな情操を培う。			社会 ：差別されていた人々の、脳分けなどの優れた技術が、江戸時代の文化の発展を支えたことに気付かせるとともに、人権課題「同和問題」に関する歴史について理解させる。「同和問題」		社会 ：女性の選挙権等の獲得等、女性の地位向上を目指す運動が進められ、女性の権利獲得が長年の人々の努力によるものであることを理解させる。「女性」		国語 ：小学校生活をテーマとした作品作りを通して、自身の成長は様々な人との関わりがあったことに気づき、効果的な表現方法の工夫を考え、豊かな情操を養う。 社会 ：世界における日本の立場を理解し、世界平和にかかわる態度を育てる。外国人から見た日本の姿を理解する。「外国人」			
特別の教科 道徳			国際理解、国際親善 ：外国の人々や異なる文化を理解し、互いに尊重し合う。			体育（ボール運動） ：互いにルールを守り、協力しながら運動する経験を通して、協力、公正などの態度を身に付けさせる。 生命の尊重 ：生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。		家庭科 ：家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を身に付けさせる。 公正・公平 ：だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公正・公平に接しようとする。		算数 ：目的に応じてデータを集め、整理し、表、グラフ、中央値、代表値などを用いて判断することを通して、筋道を立てて考える力を伸ばす。 読書科 ：興味をもった人物について、必要な情報を集め、整理・分析してまとめる。		家族愛 ：家族の幸せを求めて進んで役立とうとする。 個性伸長 ：家自分の個性や長所を知り、積極的に伸ばして将来に生かそうとする。	
総合的な学習の時間			世界遺産～日光をたずねて～ ：日光の特色について調べる活動を通して、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を身に付けさせる。					職業調べ ：社会に存在する職業を調べ、自己の将来について考えることを通じて、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。		感謝の気持ちを伝えよう ：小学校生活を振り返り、自身を支えてくれた人々の存在に気づき、感謝の気持ちを表す。			
特別活動	学級活動「最高学年として」 ：学級目標や自分の目標を考えさせる 学級活動「SNSの使い方を考えよう」 ：インターネット上の人権侵害の状況を理解し、SNSを利用したコミュニケーションに関する問題点について話し合うことを通じて、自他の人権を尊重する態度を育てる。「インターネットによる人権侵害」					運動会 ：協力し合って演技をする。		展覧会 ：友達の良さを認め合う。		児童会活動 ：ユニセフの活動に参加することを通して、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を身に付けさせる。			
	たてわり班活動（通年） ：異学年交流を深め、相手の立場に立って思いやる態度を身に付ける。									6年生を送る会 ：在校生への思いやりや感謝の気持ちをもたせる。			
その他	保護者会等 ：家庭からの連絡などから一人一人の実態を把握する。		あいさつ運動 ：あいさつを通して温かい人間関係の基礎を作る。 ふれあい（いじめ防止強化）月間					ふれあい（いじめ防止強化）月間		あいさつ運動 ：あいさつを通して温かい人間関係の基礎を作る。 ふれあい（いじめ防止強化）月間			

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 □ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。